

## 令和7年第2回おいらせ町議会定例会

### 一般質問通告書（5人）

| 順位 | 議席番号 | 議員氏名      | 質問方式   |
|----|------|-----------|--------|
| 1席 | 6番   | 佐々木 勝 議員  | 一問一答方式 |
| 2席 | 11番  | 平野 敏彦 議員  | 一問一答方式 |
| 3席 | 12番  | 榎山 忠 議員   | 一問一答方式 |
| 4席 | 14番  | 西館 芳信 議員  | 一問一答方式 |
| 5席 | 3番   | 小笠原 伸也 議員 | 一問一答方式 |

|    |    |          |          |      |        |
|----|----|----------|----------|------|--------|
| 順位 | 1席 | 議員<br>氏名 | 6番 佐々木 勝 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|----|----|----------|----------|------|--------|

## 1 災害時の避難所対策について

近年気象状況の不安定で、昨年の夏は猛暑、今年の冬は津軽方面は大雪に見舞われ、りんごの木などに大きな影響がでています。今後も青森県のみならず全国何処でどのような災害が起こるか未知です。災害は忘れた頃にやってくると言われます。行政としても常に緊張感をもった災害避難対策が必要とされます。

そこで以下の質問をいたします。

(1) 昨年8月11日台風5号大雨の影響で避難所が下田中学校、いちよう公園体育館に開設されました。

ア 避難所の開設決定の経緯について伺います。

イ 下田中学校、いちよう公園体育館へ避難されて来た方は何人か伺います。

ウ いちよう公園体育館の備蓄品内訳と数量、何人位を想定しているか伺います。

エ 大きな災害時の避難所としていちよう公園体育館は避難者を多く収容できますが、そういう時一番不便を感じるのがトイレです。体育館内のトイレの内訳(男女別)車いす用、手すり等の設備状況を伺います。

オ いちよう公園体育館内トイレ及び体育館前のトイレの改修、建て替えの予定はあるか伺います。

## 2. 公園施設長寿命化計画について

本年度(令和7年)の予算に公園施設長寿命化計画策定調査業務委託料として3千3百万円の予算が計上されましたが調査委託の内容(下田公園、いちよう公園、海浜公園)について伺います。

(ア) 公園別にどういう調査をするのか伺います。

(イ) 調査後の計画予定を伺います。

|    |    |          |           |      |        |
|----|----|----------|-----------|------|--------|
| 順位 | 2席 | 議員<br>氏名 | 11番 平野 敏彦 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|----|----|----------|-----------|------|--------|

### 1. 農地適正利用の地域計画について

農業経営基盤強化促進法の一部改正により、農地に関する利用の明確化や集約化を推進し、次世代に引き継ぐのが狙いの「地域計画」について。

- (1) 農業者、農業委員会、中間管理機構、農協、土地改良区等協議とありますが、農業者の意見、将来の課題について、お伺いします。
- (2) 市町村が策定した10年後の農用地等を定めた目標地図を含む地域計画は、ホームページなどで公開するとありますが詳細と時期は。
- (3) 高齢化による「耕作放棄地」予備軍対策と、地域計画での取り組みは。
- (4) 農業人口の減少や離農といった課題について地域計画での取り組みは。

### 2. 発達障害児早期発見対策について

- (1) 政府では、発達障害の早期発見に有効として、「5歳児健診」の普及に向け、支援強化のため2025年度から自治体に対する補助率の引き上げなど対策に適切な支援につなげるとあります。「5歳児健診」は任意となっており、23年度行った自治体は14%にとどまるとありました。おいらせ町の実態についてお伺いいたします。
- (2) 健診は地域の保健センターなどで、原則無料で受けられるとあります。町の周知の方法と受診者の把握について。
- (3) 子ども家庭庁は2028年度までに全国100%実施を目指すとあります。子どもの発達障害などの特性が早期に分かれれば医療や福祉を含む地域での連携が可能となり、本人や家族の困りごとを減らすことにつながることから、「5歳児健診」を実施する考えはないかお伺いいたします。
- (4) おいらせ町こども計画では「5歳児健診」をどのように位置付けするのか、お伺いいたします。

### 3. 町職員のカスタマーハラスメント対策について

- (1) カスタマーハラスメント（カスハラ）が社会問題化する中、自治体でも多くの職員が暴言や交流サイトで中傷に悩まされている。「公僕」を意識する住民が、高圧的な態度をとるケースが多いと報道にあります。当町の実態についてお伺いいたします。
- (2) カスハラが起きる可能性がある部署に、通話内容を録音できる装置を設置する考えは。
- (3) 職場の実態について、カスハラについてのアンケート調査の実施の考えは。

| 順位   | 3席 | 議員<br>氏名 | 12番 榎山 忠 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|--|----|----------|----------|------|--------|
| <p><b>1. 町指定の記念樹の管理について</b></p> <p>1 町指定記念樹の管理について次のことを問います。</p> <p>ア. 町には百石地区根岸の日本一の大樹「大銀杏」がありますが、そのほかに町指定の記念樹は何ヶ所ありますか。また、その中に県、国が指定する樹木はありませんか。</p> <p>イ. 指定樹木の管理はどのようにしていますか。例えば指定樹木を表示する墓標が朽ち果て、倒れている場合、誰が管理整備する事になりますか。</p> <p>ウ. 根岸の大銀杏は昔から知名度は高いが、それ以外の指定樹木を町の観光資源として活用する考えはありませんか。</p> <p><b>2. 下田公園間木堤の白鳥監視小屋の男子トイレについて</b></p> <p>1 白鳥の家、監視小屋を来年4月から指定管理者制度を導入したいとのことですが、監視小屋の男子トイレ大便器がまだ和式のままであり、観察に訪れる男子児童生徒が困惑しているのを時々見かけ、監視員の機転で女子トイレの洋式便器を利用させていると聞かすが、制度導入前に洋式便器に変える考えはありませんか。</p> <p><b>3. 町内在住の外国人に対する災害対策について</b></p> <p>1 三陸沖、千島列島沖等巨大地震発生の確率が80%台と予想されています。町民への防災教育は必要不可欠なことではありますが、町内には多くの外国人が居住しています。その方々への防災教育等の対応はどのようになっていますか。</p> <p><b>4. 町内公共施設の解体について</b></p> <p>1 町内の公共施設解体について下記のことを問います。</p> <p>ア. 町内の公共施設で、今後解体しなければならない主だった物件と、それに要する予算額と財源をどのように考えていますか。</p> <p>イ. 総務省は公共施設解体の負担軽減として、交付税で支援する制度を考えていることが、新聞報道されていましたが、町はその内容をどのように把握していますか。また、活用する考えはありませんか。</p> |    |          |          |      |        |

|    |    |          |          |      |        |
|----|----|----------|----------|------|--------|
| 順位 | 3席 | 議員<br>氏名 | 12番 榎山 忠 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|----|----|----------|----------|------|--------|

## 5. 井戸水の分析管理について

1 町内北部の自家用井戸水の分析結果から次のことを問います。

ア. 町内北部で井戸水を利用している戸数は何軒ありますか。また、自家用浄化槽設置戸数は何軒ですか。

イ. 井戸水の分析は利用者が行うものとは考えますが、昨年秋、一利用者が分析した結果、有害物質が検出され、分析業者の話では今は健康被害はないが、原因は現在使用されていない過去に使用された農薬が長い年月の間に大地に浸透した結果であり、除去することは無理であると話していたとのことです。

町として町民の健康を守るために一度分析し、対策を検討する考えはありませんか。

## 6. 合併20周年記念行事について

1 来年2026年は合併20周年となります。町の活気を創出するために記念行事を計画実行すべきと考えますが、その計画はありませんか。

|    |    |          |           |      |        |
|----|----|----------|-----------|------|--------|
| 順位 | 4席 | 議員<br>氏名 | 14番 西館 芳信 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|----|----|----------|-----------|------|--------|

### 1 町内・奥入瀬川下流域の防波堤のかさ上げについて

かつて県が防波堤のかさ上げを堀切川地区住民に明らかにしながら、未だに未実施の箇所がある。これに関する町と県の認識及び、事業可否見込みについてお尋ねしたい。

- (1) 県がかさ上げを明らかにした事実、つまり、その時期、場所、対象かさ上げ箇所などの概要について町は把握しているか。
- (2) 未だ、かさ上げになっていない理由と今後の実現の可能性は。町と県の対応方針を明示し、お応え願いたい。

### 2 甲洋小学校地区の自転車の歩道通行に関する標識の設置について

懸案の甲洋小学校地区通学道路の歩道拡幅事業が一段落したようであるが、これと同時に、自転車通学児童の歩道通行について地区住民に戸惑いが生じているという。

このことについて、教育委員会、町にお尋ねしたい。

- (1) この、国道338号に係る県の歩道拡幅事業の名称、区間、施工区間、供用の時期をご教示願いたい。
- (2) 歩道の自転車通行は3ヶ月以下の懲役、又は5万円以下の罰金刑が科されるおそれがあることを危惧している地区住民がいる実情を町は把握しているか。
- (3) (2)の憂いの要因は「自転車通行可」の標識設置が一丁目1丁目以北から、二丁目4丁目の三沢市境界までの338号上の歩道に唯の1基も無いことと思われる。

このことを踏まえ、甲洋小学校通学道路である国道338号上の歩道への「自転車通行可」の標識設置、設置後の通学児童への交通教育と状況改善の周知徹底を町と教育委員会はどうか考えるか、お尋ねしたい。

|    |    |          |           |      |        |
|----|----|----------|-----------|------|--------|
| 順位 | 5席 | 議員<br>氏名 | 3番 小笠原 伸也 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|----|----|----------|-----------|------|--------|

### 1 役場の窓口サービスについて

町民にとって、最も役場を身近に感じられる場所は窓口である。窓口で各種証明書の発行や手続等に関わる対人的なサービスを受けている。そのことを踏まえ、役場の窓口サービスの在り方について質問する。

#### (1) 窓口サービスの評価について

ア. 役場本庁舎（町民課・健康保険課・子育て支援課）では、3月下旬と4月上旬の4日間17時から19時まで受付窓口開庁時間を延長して転入転出時期に伴う混雑緩和に対応している。期間中に対応した町民の人数や町民の評判を伺う。

#### (2) 町民目線に立った役場の窓口サービスについて

ア. 町民の側に立った窓口サービスを提供することが求められている。窓口での「待ち時間の解消」や「複数の窓口に用件ある場合」は、どのように対応しているのか。

イ. 五戸町役場では、今年四月から総合窓口を設け、各種証明書交付を窓口一つで実施し、手続き時間を大幅に改善している。おいらせ町も実施を検討しないか伺う。

ウ. 受付番号表示を始め、待ち時間がわかるシステムを導入しないか伺う。

### 2 スマートポストについて

(1) デジタル郵便サービス「Smartpost スマートポスト」を、おいらせ町は、郵送費の削減、業務効率化を目的に2024年9月に導入を決定している。

ア. 郵送費の削減は、導入前に比べどの程度達成されているのか伺う。

イ. また、業務の効率化や住民サービス向上につながっているのか伺う。

### 3 行政と町内会

(1) 近年、おいらせ町56町内会の活動に様々な問題が生じ、増加傾向にある。町内会長の高齢化や健康上の理由が生じて、会長や役員職の世代交代が進まない町内会が多い。また、町民のごみ出しマナーの低下もある。さらに町内会加入率も低い。このままでは将来、町内会は消滅する方向へ向かうかもしれないと考える町内会長も多い。そのことを踏まえ、次の点について問う。

ア. 現在おいらせ町の町内会加入率はいくらか。

また、町内会に対して町の支援事業はどのような種類があるのか。さらに補助金等の手続きは高齢者にとって簡単かどうか伺う。

イ. 任意団体である町内会が消滅した場合、どのように行政は町民と連携するのか。民生委員は確保できるのか伺う。

| 順位   | 5席 | 議員<br>氏名 | 3番 小笠原 伸也 | 質問方式 | 一問一答方式 |
|--|----|----------|-----------|------|--------|
| <p>ウ. 町内会に依頼のある緑の羽根募金は、税金の寄付金優遇措置の対象となるのか伺う。また、その際、領収書が必要か伺う。</p> <p>(2) 三戸町の「地域担当職員制度」が2024年度から導入されている。「地域担当職員制度」とは、町内の各町内会に担当の町職員を割り当てる制度である。町とのパイプ役として意見の取り次ぎを担い地域住民との対話を重視する。利点が多く、経費もかからない。</p> <p>ア. おいらせ町も町内会に寄り添うために「地域担当職員制度」実施を検討しないか伺う。</p> |    |          |           |      |        |